滿洲日報

油豆行情（中曆三月十九日）
豆油　九百六吊百至六三吊二百
豆餅　價錢五吊四百文至五吊
上車三十餘輛
共來七十餘輛
六吊九百至六吊八百

一 懸紙 全	一圓八十錢	
一 七九半紙 全	一圓	
一 連紙 一連		
一 フールスカツプ 全	四圓	
一 中判洋紙 全	二圓	
一 半紙 野紙 百枚	二十錢	
一 卷紙 四十枚續	十四錢	

一 全三組道具	一圓五十錢以上一圓七十錢
一 椅子	一圓五十錢以上四圓五十錢
一 簞笥	三十圓以上三十五圓
一 卓子	四圓五十錢以上十三圓五十錢
一 卓子掛	六圓以上十二圓
一 厨房用戸棚	七圓五十錢以上十圓

一 縞毛布	一枚モノ	四圓以上六圓五十錢
一 長火鉢		八圓以上十一圓五十錢
一 箱火鉢		二圓以上三圓五十錢
一 宜德火鉢	一對	六圓以上九圓

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白平例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日者每行一角五分登一月者每行一日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告
▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番 支配人室　百八番 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
勝山丸　廿六日入港
三河丸　廿六日入港
營口丸　四月廿六日未明出帆　太沽、芝罘、門司、神戸行
山東丸　五月三日出帆　大沽、芝罘、門司、神戸行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告
日海丸　四月廿七日入港
日東丸　廿六日出帆芝罘、門司行
第二乾坤丸　廿七日門司直行
日の出丸　四月廿七日芝罘、長崎行
第三多門丸　四月廿八日門司、橫濱行
摩耶山丸　四月廿九日入港
金龍丸、大龍丸、國見丸　臨時芝罘定期
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本製運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需　局圓本主人啓

宅合名會社分莊
運輸部
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街盛德院内分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話 東店五五 西店一二〇

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行并滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉　貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚選通知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
係裝運各物火輪船生意兼賣各幇洋什貨檣石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式裩子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 西義順棧內　東櫃（電話九十五番）西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撒庫拉）百合花牌（利利）均已馳名内外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲講可向敞行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　穎朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌啤酒日本清酒一概俱全兼有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷
松茂洋行（電話五十二番）

三井
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
電話　第六十六號　第九十一號

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行
電話　第六十六號　第九十一號

生徒募集
營口瀛華實學院
招入學生
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し既に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くにつき特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口　瀛華實學院
本學院肄業諸生頗着成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

新荷着
▲板材木　▲木炭
▲生石灰　▲竹
▲亞鉛板　▲洋釘
▲日本米　▲疊
營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

周
鐵道遼河裕和盛運輸局
在東營口西北街旗昌洋行對門
（電話八十一號）
啓者本號向在日本長崎開設數十年并分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟并代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎
謹啓

稅關手續
一 船舶代理
一 貨物取扱
一 委託販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市内貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歲

上海中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書糙各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙釘五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售　貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

材木荒物販賣
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

齒科名醫到營
治療齒痛之法爲衛生上必要之一端固未可以等閒視之也然本埠竟無良醫余嘗深以爲憾頃二志士特請居留天津之齒科名醫田添豐三君來營即在舊高田洋行内從事治療先生前在天津法租界開業久爲中外人所信服其技術之良否茲不復贅如有患齒疾者請速至該處診視愼勿失此機會特此聲佈
營口　有志者白

太古輪船公司
啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行碼頭上落甚屬利便水脚索來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告
營口　太古輪船公司

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東（西）遼（河）各埠船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東　營口南永世街北斗洋行
西　櫃開設　營口西北街塘子胡同內

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料　一ヶ月以內……　長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

東京電報

●民政署出張所の燒失　昨夜火災にて赤坂なる關東州民政署出張所及び憲政黨の一曲輪全燒總督府出張所は幸に無事を得たり

●赤十字社船の派遣　閣議にて愈ゝ赤十字社船を桑港に派遣することに決定す

●大森博士等の取調出張　大森博士中村工學士は震災取調の爲め桑港へ派遣を命せらるべし

●大統領の謝電　我天皇陛下よりの御見舞に對し米國大統領より懇到なる謝禮の返電ありたり

●震災義捐運動　赤十字社主動と爲り全國に震災義捐金募集運動の着手に決す

●安東縣領事出發　安東縣領事岡部三郎氏今日出發任地へ赴く

●兒玉子爵の叙位　子爵兒玉大將は從二位に叙せられたり

●關稅委員會設置公布　關稅率調査の爲め主稅局に調査委員會を置く旨公布せらる

●移民條例の制定　統監府は二十個條より成る移民條例を制定し議政府に廻附せり

●在米同胞の同情　太平洋沿岸の日本居留民は桑港震災以外の同胞に檄し罹災民に食物を贈り困弊を少からしめん爲め團體を組織せり

●死體取出し數　桑港震災後死體の二十三日迄に取出されたるもの五百に達す死者總數は一千人以上ならん

●日清公使の聲明　伯林駐紮日本大使及び清國公使は獨乙亞細亞協會にて東亞に於ける門戸開放主義の維持さるべきを演說せり

(以上四月二十五日發電)

雜報

●省城管見(三)　(在奉天特別通信員)

▲官銀號と紙幣發行　官銀號は昨年十一月大に我が正金銀行の向ふを張つて奉天金融界の牛耳を握らんと欲し清國官憲によりて開設せられたるものなり財政處より籌撥したる資本金三十萬圓甚た多からず而して商民の信用未た甚た厚きものあらさるもの丶如し總理を馬恩桂と云ひ總稽査を蓋觀光と稱し、書記官劉東藩、如上は財務處より任命特派せられたる官吏にして官銀號の事務を監理し總商魏星橋、副商揚德隆、仝董賀三は商人にして財務處より選任せられたるもの、以て官銀號の營業を擔任す、將軍及び財務總辦史は爾來鋭意官銀行の發達に力をそゝぎ、其事項私人金融機關の倒傾するに際しては寧ろ火に薪を添ゆるの体度を取り追次其繩張を侵して大に自らの勢力を作らんと試みたる如きなりしも　公議商局が取付の厄運より脫する事を得て起色あるの今日に及では官銀號の失敗を說くものあるを拒む能はさるもの丶如し、又夫れ我軍票の滿洲に於ける成功並に正金銀行の鈔票の北清一帶に於ける成功に對し頗る羨望に堪へさる所あるか、銀票發行の計画を起し已に去る三月上旬天津より約十一萬圓の銀票は當地に到着し、漸次市面に流通を試みつゝあるが、該銀票は十圓票五圓票一圓票二十錢票十錢票の六種にして其表記價格の區別飽く迄我軍票に模したり、今ま現に市上にて散見せるは下圓、一圓五十錢、二十錢、の四種にして十圓票十錢票は未た發行せさるもの丶如し、而して此銀票は小銀貨兌換の銀票にして我正金銀行鈔票の圓銀兌換の利に當るや言を俟たず、捐稅其他本省の官事に該銀票を使用するを得るを以て今後相應の流通は商民に於て敢て拒む所あらさるへきも、兌換の安心と利益とを共有する正金銀行鈔票の將來大に發行せらるゝ時來らは、商民の大取引には全しく該銀票を棄てゝ正金銀行鈔票を望むへきならむとは、自ら以て架空の推斷にあらさるへきか、

▲勸業公司と利權回收　近時清國に於ける流行の新熟語利權回收の四字は全しく當地チヤンカラによりていち早く唱導せられ、前商務總局書記なりし浙江候補同知沈文孫なる一白面書生は商務總辦なりし彭穀孫を說いて製粉、搾油、煙草製造及び各種工藝品製作の目的を以て勸業公司を開設せんと欲し、資本金十万圓にして小株一枚百圓大株一枚千圓利子一ケ年六分の考案にて本年一月廿七日已に奉天將軍の認可を得たり、斯くて大西門外なる元製粉所大有餘を三万五千両にて買入れ大に製業開始の計畫にて大に大有餘に行々敷看板を掲げ居れるが未た思ふ如くに株金の相集らさるもの丶如し、大有餘製粉器械並に房屋の賣拂廣告が依然として東三省公報に廣告せられつゝあるを見れば勸業公司は今日の所計畫のみにて看版のみにて實際の營業に着手するに至らさるもの丶如し、利權回収を標榜して天下に呼號す、宜しく須く丹田を養ふて然る後にすべし、初め雷の如く後に屁の如きは遂に我國山師一流の所謂滿洲經營と規を一にすへきのみ、該公司定欵中に左の一條あり、參考の爲め之を左に附記す

一本公司株券は外國人に賣與するを許さす、若し外國人に賣與したる時は本公司は一切承認を與へす直に無効とす」其意氣込實に偉ならすや而して現下の事業發展は如何謂ふ奮起を望む

●吉林雜觀(五)　一樣客

吉林に於ける我軍票

日露開戰以來滿洲に於ける我軍票の流通は非常の巨額に上りたり平和克復するや當局の機敏なる手腕に由り漸次回收せられ今や全滿洲に於ける流通額は五六百万圓に減少するに至れり此軍票は正金銀行手形と共に昌圖以南の各地に流通し今後日に月に減少するならん然るに我軍票は長春より吉林方面に流通し又哈拉賓にも多少の流通を看るなり我軍は平和成立の爲め遺憾にも昌圖以北に前進する能わす空しく哈拉賓吉林の天を睨んで停止すること丶なれり茲に於て我軍票は其平和的性質を帶へるを幸ひ軍隊に代て前進を起し縱橫無盡に北滿洲を飛ひ廻れり豈に聊か慰むるに足らさらんや是等各地に於ける軍票は其額幾何なるや詳細に之を知る能すと雖約二三十万位に過さるならん今吉林に於ける我軍票か如何なる價格を保てるかを示さん爲め左に各種銀貨の相場を記せん

吉林銀貨	一元	二吊三百文
外省銀貨	一元	二吊百五十文
露國紙幣	一留	二吊四百五十文
日本軍票	一圓	二吊文

由是觀之露國紙幣最も割合好く次に吉林貨幣にして日本軍票は下落の極と云ふへしコワ露國勢力範圍の地方なれは自國紙幣の價格を保たしむるに勉めたりや勿論なり我軍票か北滿洲に流通するに至れるは露國兵士の掠奪せるもの丶外一に清國商人及勞働者の媒介に因れり是等の商人及苦力は營口其他より北上して北滿洲に入込むものなるか彼等は携帶の便に委せ之を北方に持行きつゝあり爾れは北上清國人の增加するに連れ北滿洲に於ける軍票の流通額も多少增加するならん吉林地方に於ける流通額は割合に多額なるもの丶如し持てよ軍票の君よ我等日本人か吉林に於て貴下に會する日も餘り遠きにあらさるへし

●遼陽通信　四月二十二日　綠城生

▲日本人會總會　既報の如く去る二十日第二回總會を同事務所に開かれたり當日は朝來得難きの好天氣にて自然會員の出足も速かなりしか定刻の午後一時に參集するもの四十餘名水澤軍政官も臨席せられたるを以て會場の光景一段の活氣を帶ひたるを覺ゆ席定まるや海南會長は開會の辭を述へ聽て庶務報告に次ひて會計報告の了はるや質問矢の如く起り議場何となく動搖めきて何時果つへくもあらぬ狀態なりしか時しも午後三時二十分城內出火の急報傳へられ多くの會員は急遽狼狽議場を去るの有樣に會長は直ちに停會を宣告したりしか午後四時三十分鎭火と共に會員は扳來出席するも總員二十餘名に過きす、されと流會すへきにあらねは再び引續き開會し會則改正逐條討議に遷りて會費一戸に付き二圓徵收するの項に至るや等級說と人頭說現はれ議題となりて甲論乙駁各口角沫を飛はして論難攻擊時日の耽るを覺えさる程なりしか結局採決に至り過半數を以て原案通り一戸平均二圓徵收と可決せり會則改正も此に一段落を告け無事通過し了はり評議員改選は軍政官の指名を仰ぐに決しぬ、列席されたる水澤軍政官も承諾され即時十三名の評議員を指名し茲に全く閉會を告けたるは午後六時三十分將に點燈の頃なりしか當日の勞を犒ふへく別席にビールさては蜜柑等の備へあり一同席を轉し雜談に耽り各胸襟を披き談笑湧か如くなりし

▲慰勞宴會　日本人會總會別室に於ける談話將に盡きんとする時農園會高野邦基氏は發議して水澤軍政官及ひ海南會長戸水理事三氏の勞を多とし慰勞會を開かんとの議に何れも同意を表し一行は直ちに相携へて遼東館に歩を進めたり此の席に列するもの會員の外尚ほ二三人列席せるか始終校書美形の其の間に斡旋するありて酒酣なると共に玉山崩れ快談百出主客共に頗る歡を盡し盛會を極めたり斯して萬歲の聲四隅より起りたると同時に水澤軍政官海南會長戸水理事の胴揚あり和氣洋々の裡醉步蹣跚として散會したるは午後十一時なりしと

▲堀內胖次郎氏　松山市新進の實業家として地方に名ある堀內胖次郎氏は商業視察の爲め過般來陽せしか氏は大連に商店を有し居り尚當地に支店開設の計劃なりと云ふ

●郵船の大阪大連航路開始　郵船會社は去る十八日午前十時神戸解纜の橫濱丸を初として大連航路を開始し今後同船を大連定期船に充つると共に北清行臨時船は悉く大連に寄航せしむる事とせり從來大連航路には右近氏の所有船と商船の命令航船とが定期航海に從事せるのみなりしに郵船の大連航路開始は一層の便利を加ふべく尚次航より橫濱丸は大阪築港を起點として大連に航行せしむべしといふ

●遼河輸送組合調停　昨紙海とも山とも決せざる如く記述したる例の遼河輸送組合總會は其後某々等二人の大に斡旋の勞を執りたる結果表面反對者も折合ひ漸く解決したる如くなる由にて其夜祇園閣にて所謂仲直り懇親會を開催し各自胸襟を開いて談笑し午後十二時頃散會せりと云ふ因に紛紜を重ねたる事に付記者は細大洩さず精探し居れども敢て事を好む者にあらされば暫らく此後の雲行を觀察する事にせん

●汎愛扶植會の概況　大坂汎愛扶殖會員が資金募集の爲め數日前來營せるとは前號の紙上に記載する所の如くなるが今同會の概況なりといふを聞くに同會は明治二十九年始めて大坂東成郡生野村に設立し爾來十星霜事業益〻緒に就き三十五年聖上皇后兩陛下より金七百圓を下賜せられ三十六年內務文部兩大臣より財團法人の許可を受け基礎益〻鞏固なるに至れり而して其事業としては育兒部幼稚園產業學校の設けあり育兒部に於ては棄兒孤兒を養育し幼稚園に於ては同會收容の幼兒及び勞働者の幼兒を晝間預りて保育し產業學校に於ては八歲以上の生徒に實業敎育を授け獨立自營の技能を得せしめ又別に不良兒童感化の方法をも講じて專ら汎愛慈善の旨意を推廣扶殖するに勗め殊に日露戰爭開始以來は特に救護部保育部等を增設し或は出征軍人の不幸兒を救濟し或は其家族を慰問する等其軍國の爲めに貢献せる所鮮からず設立以來三府二十三縣より已に三百餘名の貧孤兒を救濟し又這次東北三縣よりも已に百數十名の孤兒を收容したりといふ從來同會の費用として每月七百圓を要せしに今や其事業は斯くの如く膨脹し來れるを以て資金を要すると亦益〻多く一層滿天下志士仁人の同情に待たさるへからさるの切要を加へたる爲め特に會員を四方に派して捐貲の勸誘を爲すに至れる次第なりといふ

●遼河輸送組合員の捺印　別項記載の如く愈々調停したる結果其筋に對し共同事務所設置願書認めに付組合員一同署名捺印の必要上昨日午後七時より日本人會々議室に於て願書に夫れ〱捺印したりと尚組合員約欵なるものを作成し各組合員に配布せりと其內容左の如し

組合員約欵(原文の儘)

遼河水運業は今や各國人環視の裡に在ると同時に之れが業を營むに當り營業者夫れ自身の体面を尊重するにあらすんは他の輕侮を招致し終に特殊の利權を附與されたる官憲を辱かしむるに至るなきを保せす而して憾む本年の營業狀態は同業者小利を相爭ふの弊を生するならんかを今の秋に於て相戒飭し末た其弊の大ならさるに先たち之れか矯正の策を講せすんは蓋し收拾の途なかるへし則ち左の約欵に據り誠意一致以て面目を保ち更に其利權を圓滿に運用せん事を期す

第一項　營業上に於る軌道を一途ならしめんか爲め航行願は總て組合事務所の經由印を捺押し運賃率の一定を勵行し業務の圓滿を謀る事

第二項　組合員は舊慣に因り收得する問屋口錢の半はを組合事務所に納入する事

第三項　組合の收納金は事務所費一切を支辨し餘剩金は組合員均一所有とし事業の發展改善を謀るへき基本資金に充當する事

第四項　組合員營業を差止めらるゝか又は自家の都合に依り廢業するものは其後に生する基本金の所有權も自然消滅す

第五項　施行順序其他の細目は附則とし別に之を定む

右は各公司熟織の末組合員約欵として恪守すへき事を承諾し茲に署名捺印す萬一違約をなし他の組合員に損害を與へたる場合は違約者に對し辨濟を請求する事を得

組合員約欵附則

一　本則第二項組合事務所へ納入額は船舶の大小及荷物の仕向地の遠近に拘はらす總て一隻に付銀三圓とす

二　組合事務所費は組合會決議に據り支出し尚各公司出船數を目安とし一隻銀五十錢の割を以て每月拂戾しをなす事

三　組合收入金は每日銀行へ預け入るへし但現金の取扱は總て理事全員の連名を以てすへし

四　組合員は交互組合事務所に出頭し業務の實況を視察すへし

右協定候也

明治三十九年四月廿四日

●米國震災と三井支店　我東電に依り今回の米國大地震により三井支店も亦其災に罹れる由記載せる所當營口同店より電報を以て問合せたるに左の返電に接せりといふ

桑港支店詰員無事、事務所重要帳簿を除く外燒失

●松榮座本日の狂言　箱崎文庫黒田騷動大序より大詰迄其役割は▲下郎宗平　栗山大膳(千代花)▲黒田忠行、淺井妻お綱(美根代)▲忠行奧方(小美枡、▲倉橋、坊主(美澤次)▲お梅(美根松)、▲淺井妹お熊(美根六)▲淺井四郎左衛門百姓太郎作(美根八)▲山脇(美花丸)▲百姓(美千代　美花吉)

●營口花信　東京樓で嬌名を博したるお玉さんは今度何原君なる者に大枚三百金で落籍されたさうなが姐さんは素と九州島原の生れで羅紗玉と言へば知る者は知る古創付の化猫で美利堅人の赤髯のラシヤメンと爲つて上海に渡り一昨年日露交戰前山海關に來たが開戰と共に赤髯は歸國の巳むを得さるに會し二千圓の手切金と共に惜しき袂を淚で分ち營口に來た所軍政署の取締が嚴重な爲め日本人〇〇の內縁の妻といふ格で暮して居たさうなが其來男にのろきお玉姐さん到頭〇〇の爲めに所持金迄捲き上けられた揚句に、いときぼりを喰はされたのでツイ苦界に身を沈むると爲つて第二大和館にお酌を執り居つたが何んでも乙な病氣で病院送りと爲り漸く全快したが其時にもう大和館が閉店した跡なので今度は東京樓へお鞍替と洒落れて手練手管の修養中圖らす引掛つたのが今の何原君であるげな誠にお芽出たい艶談であるがお玉さんは尙執念深くも色目の褪つた赤髯の誤親切に未練を殘して今も丸帶の中に髮の中から顏の飛ひ出るやうな寫眞を縫ひ込んで居るさうぢや何原君たる者宜しく覺醒せさる可らすとは某消息通の注進である

投書かご

▲廿日の事であつた彌生館向筋のトロックに夜具やら世帶道具を澤山積み込んで誤娼賣何の可惜盛りを過ぎにし花と見ゆる御兩人、帳場らしき若い男と今しも發車せんとする刹那、何れ某方面に新運命を作るへく出發するのであらうが其若い男見送くりの女に極めて眞面目な顏で少しく沈んだ聲で浮氣をするなよゝゝゝゝといへばハイゝゝゝゝゝと打俯つゝ聲が無かつた此同時にトロックは靜かに前進したのであつた此刹那の芝居は恰も『別れのトロック』と藝題しても好かつたらしい(元俳優)▲或る所の大王とか小王とかお金の整理擔當を爲すつて居る御方は此頃月給が少々上つたので大威張りとは情け無い心情で無いか(某小僧)▲牛家屯で手荷物托送上非常な弊害が行はれて居る支那人なとは慣れたもので大人來々と驛夫先生を小陰に呼んで話し合ふから效驗立ろに顯はれて輕い荷物を秤に掛けて總體何程と來るが日本人は其呼吸を知らねから一番重もさうな荷物を標準とせらるゝ其處で不足でも言をうものなら直く後廻はしと爲つて其滊車に乘り後くれる鐵道の薄給者が時々營口に足を運んで浮かれ步行く其不思議な現象と對照すれば吾人は慨然として長大息を禁じ得ないのである(穴探生)▲近頃投書を郵便函へ投入せらるゝので社では未納稅を拂はなければならぬ以後は未納稅の投書は總て受付けぬ事にしますから其積りに願ひたい(本欄掛)

醉後有作　劍香閑主

一醉陶々曲肱眠　不管世人呼狂顛
大道由來存酒國　醉鄉豈容古聖賢
此間消息君不解　去問西蜀李謫仙

偶成　同

強求利達買憂患　顛倒此心不得閑
天籟聲幽西窓夕　山神拍手笑人間

紅雨

飼い鷹の英姿猛きも海百里
春をば渉る燕にしかず
顯門の狗を羨やむ痴者が
知りたりげにも人の道說く
紅かき白き花のみ色の賞で合いて
露の淸きは思はじな人

火車開行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幇子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、二八	下六、一〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一〇
北京至唐山	下二、四〇	[illegible]

稅關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部

相當身元あるもの至急入用
賄方入用

諸鐵工製作
橫山船舶機械鐵工
營口ブリツジ
川鐵工

天氣
營口地方天氣豫報
自二十五日午後六時
至二十六日午後六時
南の風晴れ

小説

新作小説 おとし胤 （四十六）

德田秋聲

此の界隈は、林が多い。また徑が多い。それで何の道を何う行ツたのか解らぬ。海鹿子爵は、はたと當惑して了ツた。

「何處へ行ツたのだらう。何んでも其處らの林の中へ入ツたに違ないが………」

無駄とは知ツてゐながらも、氣の急くまゝに、海鹿子爵は、幾度か林の中を透して見た。けれども三人のうちの一人の影も見えぬ。たゞ朗な秋の日光が、金の征矢かと紛ふばかり林の中に射込むで、晶な陰影を作ツてゐる。

海鹿子爵は、嚇ッとして、血が頭に逆上ツて了ツたやうな心地だ。災難は、もう頭の上に落ちかゝツて來て、眉が焦げつくやうな勢。眼は眩みながらも。きよろ〳〵其處らを見廻しながら、氣もそゞろ、足も地に着かず、滅多無性に三人の後を追ふのであツた。

此くて海鹿子爵は、畑を横ぎツては、林に入り、林を出ては、丘を越し、丘を越ゑては、また埃の道を歩いて、やがて一時餘りも芒の多い野を探し廻ツた。けれども三人の影は見當らなかツた。そればかりか、餘り跑いて歩き廻ツたので、足も、體も大分草臥れて來て、汗は、しツくりと背に冷い。喉も渇いて來た。持前の疳癪は、胸頭に躍ツて、妄と悶々する。

「怪しからん奴等ぢや。何處へ行き居ツたかの。光も光ぢや、熱田のやうな輕薄才子と散歩するといふが不心得ぢや。いや、光は、尙だ小供ぢやから、何も知らんから止むを得ん。けれども數馬が………」

と何んといふことはなく其處らを睨廻して、心のうちで八ツ當りだ。

考窮めて、海鹿子爵は、何んだか心が茫ッとして來た。草臥れては來ても、踏切ッて家へ歸る氣にもなれない。さればと謂ツて何處へ行くといふ的も無い。今となツては、たゞ足に委せて歩いてゐるだけである。

丁度道端の、唯ある茶店の前を過らうとした時であツた。茶店の横手の徑から、突として現はれて來た數馬は、

「や、兄樣。何方へ行かれるのですか。」

と慌てた聲で呼掛けた。

海鹿子爵は、徐ら重い頭を擡げて、數馬を凝如。眼を爛つかせて、

「お前、一人か、光は、何うした。」

「兄樣、お遣ひなされんでしたか。」

「遣はん。」

と嚙付くやうな聲だ。

「然うですか。」

と數馬は、合點の行かぬやうに首を傾げる。

「然うですかぢや無い。光は、何うしたのぢや。お前一所に歩いて居ツたのぢやないか。」

「然うです、けれども、たツた今、其處ではぐれたのです。」

「何をツ？　はぐれた………　はぐれたでは解らん。光は、何うした、何處へ行ツた。」

と喚き付ける。

數馬は、面喰ツて、

「いゝえ、つい今まで一所に歩いて居ツたのです。實は、その餘り喉が渇いたものですから、私が、此の茶屋で水を一杯飮むだです。その間に、兩人は一足先へ行くと謂ツて、此の徑へ曲ツたですから、私は、その後を追ツたですな。ところが、幾ら行ツても見ゑない。それで、もしやと思ツて引返して來たところなんですが、誠に妙ですな。誠に妙です。何處へ行ツたですか？」

と是れも大分慌てゝゐる。

海鹿子爵は、勃然として、烈火の如き怒である。

「怪しからん、お前は實に怪しからんことをいふの。お前、若い男と女と一所に歩かせて置いて、それで可いと思ふか。無責任だ、實に無責任だ………　お前が付いて居りながら、何んだ、何んのこツた。火藥を火の前に置けば、ば、爆發するぞ………　爆發ツ。」

「は………　はい。ですけれど、その………」

と數馬は、まご〳〵する。

「ですけれど、そのとは何か。馬鹿者ツ………愚圖々々謂ふことは無い。どツとと光を探して來い。」

と恐ろしい權幕。餘りの高聲に、道行く人は喧嘩とでも思ツたのであらう。何時か五人八人の者が、兩人を取卷いて、事の成行を見てゐる。數馬は、恥かしくて、顏から火の出る思。

●西川總督府參謀談片

ウン今回の鐵道授受カチ、委員長は中村少將、委員として木下中佐と鐵道提理部の堀技師の三名ぢやが隨行者とも合せたなら五十名程になるであらう、ウン一行は昨夜九時に出發したよ▲鐵道授受の終了期は程能く談が纏まれば二週間の豫定ダガ外交問題に關係して居るからお互に利權の主張になると却々容易に讓歩せぬ樣になり彼此すると五月一ぱいはかゝるかも知れぬ、由來露國は外交問題には油斷がならぬからナ▲ウン此の室は今僕の專用室となつて居るが此でも元は黑鳩總司令官の休憩室で謂はゝ紀念室なんだ、黑鳩總司令官の未だ遼陽を去らざる迄はソレ其所に睹ゆる倉庫の側に軌道がある黑鳩公專用車は常に其の上におかれてあつて黑鳩公は其の滊車內に起居し籌策を廻らしたもので時々歩を移して此の室に來り休憩しておつたソーダ▲總督府の移轉カチ、早く移轉せねばならぬ筈ぢやが、旅順に然るへき適當の家屋がないから意外に遲れたのである何時迄も果がないから來月中旬に移轉する豫定になつておる、家屋も移轉さへ決行すれば治まりが付くからナ▲昨冬の結氷期中本國より多少名のある資本家が來り視察するとか何んとかで種々便宜も與へ且つ餘計な心配もしてみたが解氷と共に何か商工業の計劃もあるならんと想ひの外未だ何等實業方面活動の聲を聞かぬが元來內地資本家の無氣力なるに驚ひた、滿洲の天地に日本の勢力を扶植するの捷徑は日本人の移住者を求むるより他に良策はあるまい、畢竟人口に勢力は伴ふものであるから此の際內地の資本家は緊褌一番猛然と起つて貰ひたい、されば種々なる事業の勃興と共に自然日本人の殖へる道理だらう▲然るに紅裙隊の奮發には有髯男子をして瞠若たらしむるよ、吾々は相當の防寒具を着けて寒威と戰たのだから左程に思はないが氷雪滿地の最極寒耳を劈く樣の時でさへ防寒衣もなく、防寒上最も不完全なる在來の日本式服裝の儘にて陸續彼の貨車で遣つて來る勇氣には驚いた、此の勇氣を若し男子に遷すことを得ば頗る妙ダナ云々（遼陽通信の一節）

春五句　醉雨

花散りて淋しき神の白馬かな
田樂の味噌に花散る茶店かな
村十戸新平民や桃の花
乙鳥の餌ひろふ町や水たまり
白魚の手に消へるかと思ひけり

廣告

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より

▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
姙婦の入院を諾す（產婆大道しげ子）

院長　醫學得業士　森　嬌
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

◎院長森嬌久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す
◎本院齒科開設
齒科醫　兒島市郎
五月一日ヨリ開設ス
森病院（電話一五五）

齒ノ衛生治療ハ一日モ等閑ニ附スベカラズ然ルニ當營口ニ良齒科醫ナキハ予輩ノ常ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ二三有志者相謀リ在天津ノ該科名醫田添豊三君ノ出張ヲ請ヒ河岸通リ元高田洋行跡ニ於テ本日ヨリ約三週間治療ニ從事セラルヽ事トナレリ君ハ夙ニ天津佛租界ニ於テ開業シ內外人ノ信用ヲ博セラル其治術ノ巧否今復之ヲ贅セズ齒患ニ艱メル諸君及齒ノ衛生ヲ重セラルヽ諸君ハ此ノ好機ヲ逸セズ陸續君ガ治療ヲ受ケラレンコトヲ望ム
四月十二日
營口有志者白

一料理用白味噌、赤味噌
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、上等鰹節
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盜、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度く奉願上候也
東營口永世街第廿八號
雜貨商　大原洋行

新着
椅子。卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。
和洋雜貨　盛進商行

御料理
板場新來了料理は高尙ト淸潔ト廉價ト輕便トヲ會席打テ一圓ノ仕餘ヘ御意ニ從ヒナンデモデスゲンシンピヨガイ
雪月花　まつのや
新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓　ふで
仝　松吉
仝　二〇か
義太夫　牛荘
御客樣方

關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司　營口支店

會席料理　三日月　營口警務課前南に入る

御手輕料理
一釜飯御一人前　五十錢より
一湯豆腐　一壺　廿五錢より
右之外御誂に應す
月　日
營口元神廟街二〇九號
翁亭

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月　日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店　高砂ホテル

大阪商船會社荷客取扱所　內外船舶代理　貨借仲立　輸出入稅關手続
滊船出帆案內
日東丸　本日出帆　芝罘、門司行
第二乾坤丸　本日出帆　門司直行
御乘船の御方は御一報次第切符持參可仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　倉庫業　諸品委托賣買
西北街　德重洋行

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Eginneer.
Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

梅毒婦人科　外科胃腸病　全身麻醉局處麻醉新器械無痛手術
專門日本醫院
輕便入院
永世街警務課ノ前

時下艶春花を見るの好時機と相成候處各位益々御淸康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室內の衛生裝飾等細大漏らさす御客樣への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候　敬白
營口二本町
祇園閣旅館　主人（電話一四四番）
各位

和洋御料理　一力
舌代
弊店儀開業以來各位の御引立に預り日增隆盛に赴き候段奉鳴謝候隨て今般各位御愛顧の萬分一に酬ひん爲め內地より有名の料理人並に藝者仲居を呼寄せ殺風景なる滿洲に得難き珍味と快感を相供度座席裝飾に至る迄凡て一新致候間續々御來遊被成下度奉希上候
樓主　敬白

旅館　御料理
奉天大西關大什字街　第五分局千〇六十八号
扶桑館
館主　堀田ハル
電話　号

元神廟街憲甲第二三〇號
宅合名會社支店

當店義都合有之本月限リ閉鎖仕殘務ハ現在店後方左側ノ樓上ニテ取扱候間爰ニ從來ノ恩顧ヲ謝シ此段廣告候也

宅合名會社 營口支店 閉鎖廣告

御愛顧ヲ以テ一昨年來特ニ名聲ヲ博シ候 清酒 **澤龜** 印 ハ從來ノ特約店ニテ一層勉勵販賣仕候也

西分行貿易部ハ此際擴張仕左ノ名義ヲ以テ老爺閣街同盛德院内ニテ引續營業仕候間是又一層ノ御眷顧奉願候也

明治三十九年四月廿五日

宅洋行

胃腸病新藥

消化劑 **糖化素**

医学得業士 矢島氏發見

滿洲特約一手販賣 **東瀛大藥房** 營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症熱病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有字效

發明者日本醫學得業士 矢島猴太郎 謹白

本行開設營口已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡臺婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也此啓

元昌洋行（元神廟街）（雜貨商）（電話百三十七番）

銘酒 白鶴

諸雜貨

今般新荷着仕候に付ては卸小賣とも是迄の賣直段より壹割引 酒及米、罐詰類は五歩引を以て販賣仕候間多少に不拘御用命被仰付度偏に奉願候 敬具

井門洋行 營口元神廟街

仝支店 遼陽西門外 電話一八五

大日本政府特定
營口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行 營口永世街

廣告

當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應じ最も懇切敏速に處辨す

建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉

營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）
土木建築請負業 **井上公司**

萬代不朽 **毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告**

ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なり

リサイトは室內裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし

米國紐育スタンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店

營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）

井上公司

大日本帝國有名方劑 **化粧品 御賣藥 一切 小賣 卸賣**

右を內地と同様の廉價を以て小賣卸賣共可仕候間多少に不拘萬事御便利に御用命被下度候 電話にて御注文被下候へば直に持參可仕候

大阪谷回春堂滿洲總售處 營口永世街三木司法部東隣

同 **天大洋行 大藥房**（電話百九十番）

日本有名秘藥物發售廣告

無論零賣整買均可

婦人用香水香料髮油以及一切藥料格外從廉以廣招徠凡在日本內地中國土商賜顧者尤請即速光臨此佈

營口大阪谷回春堂滿洲總售處 永世街三木司法部東隣

同 **大天洋行 大藥房**（電話百九十番） 啓

清國營口二本町二五五號

主任 **鹽川峯吉**（電話一三六番）

發賣 材料木 標子 木版

鹽川商會

遼陽小西門內 **鹽川商會**

●建築

外に

用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）一万立方尺餘

電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

開業廣告

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

元神廟街二四八號（電話局向）

月 日

義安公司

質屋營業

精々勉强御更宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南憲第三十六號

北斗洋行質屋部

木村寫眞館

最新流行之

寫眞撮影法に附ては叮嚀且迅速を旨とし光線の配合及位置等に尤も注意をなし各位の御嗜好に任せ撮影可申上候

弊館は更に一大勉強をなし價格の廉なるよりも進て調製方を叮嚀になし寫眞一組毎に一枚を相添可申候事に相定申候

營口二本町

歐米各國最新流行形

西海洋服店

永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉強仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷 并に製本

弊所特色

●印刷鮮明 ●價格低廉 ●叮嚀專一 ●期日正確

營口永世街入口東二本町角

川本活版所

美味安價西洋料理 牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

官製口付莨、文房具 和洋酒類 罐詰、菓子 藥品、雜貨 醬油瓶樽詰 防寒具、安價販賣

白米 卸商

（十） **豐生洋行**

營口西北街（電話十三番）

軍隊用雜貨 日用品雜貨 吳服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類 **卸小賣**

其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號（第二市場東）

石原商店

料理

滿月 平の町（電一六二）

滿月支店 平安町（元都樓跡）

店主 吉本[illegible]

萬事勉强乘車乘船好位置

營口中央市場前

旅館 **東京樓**

店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需に應ず

御席和洋料理 **東京樓支店**（電話四十四番）

時刻

唐山至天津	塘沽至北京	天津至北京	山海關至北京
上六、一二	上六、〇〇	上一二、〇〇	上八、
上一一、二八	下一二、〇六	下五、二〇	下六、四五

天津至山海關	唐山至山海關	山海關至營口	溝邦子至新民屯
上六、二五	上六、〇〇	上七、〇五	上三、〇〇
下六、二一	上一一、五八	下四、五五	下六、五七

ハ保管可申候
市場北三階樓 時計店ノ二階
宮原公司
迄申出でられたし
其外鑄物諸般

場報
昨日氣温
昨日の氣温 最高温度六十七度八 昨年との 高十三度三
最低温度四十四度四 高四度一

宮門抄

二十九日
召見軍機 杜本崇 實銘 張士翰

上諭恭錄

二十九日奉
上諭浙江金華府知府海福著開缺送部引見欽此
上諭浙江嘉興府知府著楊士燮調補惠格着調補山西平陽府知府欽此

論說

清盜源在實行警察論

人之一身。有呼吸不通。痛癢相隔之處。則病必生於其間。即推之一家一國。其原理莫不如是。何也。耳目易周之地。則弊竇一清。範圍不到之隅。則變端百出。此其事雖易知。而實力行之。亦必有術焉。非可以潦草塞責。苟且了事已也。夫療病者。必察其病源之所在。而後方劑始可奏功。爲政者。必審乎政本之所從。而後法制乃能盡善。今日者。新政頒矣。刑律改矣。治亂世用重典。猶恐易滋奸宄。刑法有時而窮。況一切從乎輕減。則無良之民。更將肆行無忌。以爲刑法既輕。雖身罹法網。而刀鋸斧鉞。可幸免乎誅鋤。挾有恃無恐之心。愈勇於犯上作亂。此閭閻之隱患。民生之大憂。不可不急於維持者也。若極力推行警察。以求收其實效。則固無慮乎此。迺者、朝廷已設警部。而警察之學。尙不出幼稚時代也。不過徒有其名。竢諸異日而已。各省亦漸次興辦警察。而通警章者十不得一。不過改頭換面。移步變形而已。求其實際。不誠憂憂乎難哉。雖然、實行警務如此其難。當此百廢待理之日。可存畏難之見。而退縮不前乎。識者固知其不可必也。持堅忍不拔之志。奏循序漸進之功。俟留學畢業警務各生。以次回國時。再講求完備之法。矧今茲北洋各處。已設警務學堂。各省均可仿行。照章練習。以資實驗。及程度已高之學生回國後。逐漸擴充。期臻美備。實目前不可稍緩之急務。而滿洲三省。爲尤要焉。查滿洲各處。盜賊橫行。爲害商旅。於地方行政諸端。儘多妨害。推原其故。則在於地方遼濶。兵力單微。設集合兵隊而剿捕。則分散而爲農民。或遠竄而之他境。無端無委。莫可追究。旋剿旋生。無由撲滅。地方之鉅患。孰有甚於此者。倘能整頓警務。則地方之患可除。盜賊之燄可熄。保民要政。有逾於此者乎。譬如一省而有警察。則各府廳州縣皆有警察。可知各府廳州縣既有警察。則各屬之城鄉市鎭均有警察可知。警察既遍。全省呼吸靈通。如身使臂。如臂使指。無隔閡之虞。無變亂之作。厥益良多。而清盜源弭隱患。此其一端。不足盡警察之善也。蓋盜賊之起。原於地方之多游民。無業者衆。必思乘間竊發。擾害善良。其初或聚集於僻鄉。或結盟於暗地。甚有公然立會標擧名目。而無知之民。率皆被其誘惑。愈聚愈多。愈多愈肆。盜賊之繁。實由於此。若各鄉皆行警察。有無故聚衆者。警兵得以隨時糾察之。如其頑抗不服。立可號召四方分段緝捕。無論其爲盜賊爲匪類。冀能消患於已萌。弭禍於未熾。而地方閙教仇洋之擧動。均可防於未然。不致無端釀成鉅案。其他保護商業。振興工藝。安輯民生諸要政。亦可次第推行。無所阻礙。現今滿洲各處。盜賊充斥。公然搶刼。抗拒官軍。其大股鬍匪。甚至盈千累百。隨地皆然。有封疆之責者。每引以爲憂。欲誅則不可勝誅。欲撫又不可勝撫。果能實行警察。勿徒張皇表面。然後將現有之賊匪。實力剿除以絕後患。警察既遍。自無盜賊復起之事。幸無若今之警察。虛有其表。大吏奉諭以通行各屬。州縣遵札以傳知四鄉。徒增煩費。羅掘百端。良民杼柚雖空。依然耐苦。莠民衣食不繼。即思爲非。甚或暗通消息。與賊一氣。是增一制。徒增一文。弗如仍舊之爲愈也。則亦何須有此警察之名。而無警察之實。以擾民而滋盜乎。

北京電報

●**西藏條約之內容**　此次駐京英國公使與外部協定藏事刻已經簽押其內容大概如左
一、英國承認以西藏爲中國之保護國
一、他諸國不干預以上英國亦全然不干預西藏內政
一、英國對在西藏之鑛山及其他利權有優越特權
一、爲推廣西藏與印度之貿易即當於西藏設互市場架設電綫
一、凡幫辦西藏行政事務除中國人之外不可任用他諸外國人
一、中國當籌辦與英國賠欵二百四十萬兩
(以上四月西二十四日發)

東京電報

●**日本特派赤十字船**　此次美屬地震之災頗極慘劇因之日政府已議決派遣赤十字船於桑埠從事救護之任云

●**召募捐欵之運動**　日本赤十字社聞美屬震災之慘狀率先倡義遍檄闔國善士召募捐欵以賑恤災黎云

●**安東縣領事赴任**　駐安東縣日本領事岡部三郎君已於西四月二十五日啓程前往履新云

●**中日欽使之聲明**　此次駐伯林日本大使及中國公使均於德國亞細亞協會席上演說即聲明維持開放門戶主義云
(以上西四月二十五日發)

中外要聞

●**倡造聯貫全球之大鐵路**　俄皇於月前准許由比利庫海峽敷設鐵路達至美國大陸之計畫今又特派委員調查是否關於以上之件且又有法國之羅布路氏倡議首先遊說俄國富人欲得其贊助計應需測量之費一千萬圓乃從依路枯庫地方距離西比利亞鐵路三千八百英里凡經過各地均是礦產豐盈若向東前往必至西比利亞極東依蘇多計布地方於該地貫通二十六英里之隧道達至比利庫海峽而至亞剌蘇加此路工成後則東西兩半地球可聯合一大鐵路將來由法國巴黎至美國紐約不乘輪舟能於地球上遍遊一週又在東半球志布羅路打地方達至喜望峯之鐵路現已在南北美洲計畫此事且有富者爲之助力期限十年以內完此極大工程此三大鐵路完成則五大洲必可以聯絡一氣以後若從喜望峯至計布康地方足不踐地身不乘船可以安坐而行此遙遠之路但先從亞非利加洲貫過治布羅夫之隧道出歐洲經法國巴黎德國柏林俄國聖彼得堡直向西比利亞始至比利庫海峽通過海底而後達至亞剌蘇加地方統計該鐵路一萬五千英里其中一萬五千英里工程已竣所餘一萬英里即前述之三大鐵路合計建築之費十萬萬圓聞已募足云按該鐵路工程完畢後週遊五大洲祇須四十一天車價一千三百圓加睡牀費一百六十圓在途中乘車或下車歇息任客自便乘車時或到冷地或到熱地或見文明之邦或覩野蠻之狀則於此四十一天之內能徧覽全地球之形勢也

●**華商收辦庫倫鑛山**　蒙古庫倫某地礦山前經俄人與華商合辦嗣以該俄人不願接辦允償華人五十萬金而以六折計算實償三十萬分五年償清等因在案現值俄祟日跌華商吃虧甚鉅該華商因議以房屋機器作抵改歸自辦聞已議有端緒將由中俄兩國官員簽押爲憑云

●**派查學務**　直隸各州縣上年遵奉學務處定章建設學堂以期教育普及其實心整頓者固屬不少而草率從事者亦所在甚多甚或官紳意見不合及紳衿黨同伐異尤屬不成事體聞學務處近日訪得某邑官紳衝突某邑紳與紳互相傾軋而某邑官紳太和彼此容隱更碍學務已派員前往秘查矣

●**兩湖總督加通商大臣**　聞政府以漢口地方將來爲各處鐵路會萃之處交涉必繁商務必盛擬將兩湖總督兼充通商大臣云云

●**派員閱操之傳聞**　練兵處以各省改練新軍業已具有形式應即選派專員前往認眞閱視藉以考查操演陣法之是否合度教練員弁之是否勝任以期改良進步振起尙武之精神聞現已派定壽都統勳先赴蘇浙皖贛等省將各標軍一律抽調校閱聞已電行各督撫矣

雜報

●**汎愛扶植會召募捐欵**　日本大坂汎愛扶植會專以救養孤窮貧兒爲宗旨其創立實在明治二十九年五月開設育兒部幼稚園產業學校等在育兒部則保育棄兒及孤貧兒在幼稚園則教養其稍長者在產業學校則收容八歲以上者授以實業教育講速得生業之道創立以來凡十年之間孤窮貧兒賴其惠已成人者共有三百餘名事達天聽前蒙撥給內帑七百圓又經稟准內務文部兩大臣改爲財團法人之組織會務大有進境値日俄戰爭時更特設臨時救護部及保育幼兒部收養出征士卒之幼孩嗣後又收容東北三縣凶作地之遺孤百有餘名保育之規模日推日廣而所需經費雖仰給中外善士施助竟不敷用因之該會特派代表人抵中國各埠請官紳捐助現該會外務部長松谷克治君與會員奈良教文君來埠勸中外人士召募捐欵想中國官紳恤貧尙義不乏其人願爲廣募以維善擧則固不第該會之幼稚孤兒同聲感頌已也

●**華兵過埠**　昨薄暮時有一王姓武員由河北率兵四百餘過埠聞係省垣趙軍帥派保護南海漁業者當於本埠覓小車十餘輛大車兩輛言今夜宿於埠南十里大水塘村該兵衣裝一切洋式且均荷有槍械云

●**土賊宜防**　昨有海城友人云有一李永順者身帶手票二百元煙土一包行至高坎佐近忽遇棒子手二人將煙土搶去所帶手票尙幸未被刦去云

NEWCHWANG, THURSDAY, APRIL 26, 1906.

The raw spring is daily gaining in delicious sweetness. A hazy film mostly veils the genial sun. The caressing breeze has already blown forth the peach-buds crimson. At a place like Newchwang, where flower-bearing trees are so rare, (we mean, out of the artificiality of the green-house) it is surprising to find what an abnormal volume of interest the famished eye takes in every blossoming stage of even a single tree.

The plum-tree in the Customs front-yard might have looked its best a few days ago. Its gayer peach-cousin within the British Consulate is on the point of bursting out in vivid red. Its shy sister ablush in the shade of the Customs east lane may follow several days later.

Supplementing the time schedule of the daily train carrying Chinese mail, we learn that the train leaves Mukden at 1.48 p.m., reaching Liaoyang at 5.29, Haicheng at 8.30, Tashihchao at 9.50, and getting to Niuchiatun at 11.10 at night. The mail matter so received will be distributed for delivery the first thing next morning.

A wood frame 6 yards square at the base, tapering into a third at the top 20 yards high has been erected on the north-western bank of the public pond in front of the Newchwang Hospital. A machinery for boring a well, which has lately arrived from Japan, is to be adjusted in the frame for starting work about next Monday.

As the boring goes down deeper into the ground, lengths of pipes will be connected in extension to be sunk into the earth, till good water is reached, if it is to be done at all, within 3,000 feet.

If the experiment turns out successful, the water will be pumped up by electricity into a reservoir, of which thirsty mortals may take freely all the year round. Then, as many more wells as required will be dug all over the city, to do away once for all with the at times precarious supply from the ever foul germladen ponds.

In the event of such a dream of sanitary good being realized, the health rates of Newchwang are certain to be radically improved, creating for the port a new strong inducement as a healthy place of abode.

We wish the Administration every success in this commendable undertaking for public benefit.

THE LATEST TOKYO INTELLIGENCE.

It is reported that President Roosevelt has telegraphed a courteous acknowledgment in reply to the message of condolence sent by H. I. M. Emperor. At the Ministerial Council held last Tuesday evening, the dispatch of a Red Cross hospital ship to San Francisco has been agreed upon. Dr. Omori, *rigaku-hakushi*, an authority on seismology, Mr. Nakamura, *Kogakushi*, and a few other experts will be sent to the scene of the great earthquake to make a technical study of the seismic disturbance and its awful effects. It has been decided that subscriptions for relief should be raised all over Japan under the auspices of the Japanese Red Cross Society. The Japanese resident all along the Pacific coast have organized an association to relieve the distress of their fellow-countrymen in the afflicted district by supplying them with provisions. The corpses dug out of the debris in San Francisco numbered 500 before the 23rd. inst. A moderate estimate puts the total loss of life in the city alone at over 1,000.

The Residency-General has formulated an immigration act consisting of 20 articles and submitted it to the deliberation of the Korean Ministry.

A Berlin despatch states that the Japanese Ambassador and the Chinese Minister to Berlin have expressed their confidence each in a speech made at a meeting of the German Asiatic Society that the principle of open-door in the Far East will be upheld to the end.

(April 25, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	100½	LONDON	Bank T.T.	2/½
	" Dem'd	100¾		" De'd	2/-9/16
	P'ate 15 d/s.	101⅛		Cr. 4 m/s.	2/1¼
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	49¾
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	50
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	51¾
TIENTSIN	Bank T.T.	102¾	Bar silver	- - -	30⅜
	" Dem'd	102½			
	P'ate 10d/s.	101⅛			

營口旅館料理店案内（いろは順）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 髙砂ホテル 料理 髙砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋御料理 公樂園 南永世街

東京生蕎麥一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 金城ホテル 料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園 旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

きそば さるそば 第一更科 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 叮嚀專一 並ニ溫泉 毎日新湯 一力 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大[illegible]

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園[illegible]

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽俱樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号 上松粂治郎

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日清俱樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーヂヲイシヒ（電話　號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江直男（電話　號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき様に相成居候間御投宿の節至極便宜て御取扱可申上候以上

旅館御料理 髙砂館本店 奉天十間房第十五號

髙砂館支店 奉髙館 奉天城外廿四號 店主 宇本智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號） 主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外北長發園隣

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき燒 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話　號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

奉天小西關新來當街々 御料理本店 金城館（電話十九）

奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）

營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）

營口永世街 御旅館支店 金城ホテル

大連市吉野町 御料理支店 金城館

大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる様一意相勉め申候

猶は奉天に於ける旅館は料理店と南北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方も之あらんかとこゝに一言申添置候

和洋會席 御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

營口永世街二本町 日本館（電話百三十）

各位樣

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

惠比須ビール新荷着 ●金升洋行 ●盛進商行

着荷廣告

筑前博多單帶、仝伊達卷、御召類、セル地、ゴム引防水布外套、金庫、錫製品各種、輕便水濾器械、洗桶、專賣特許米洗器、等勝手道具いろく、萬年筆、洋菓子、ネクタイ、洋傘、

營口 加藤洋行（電話八十番）

四月十八日ヨリ仝廿八日マテ本社事務員仝診査醫當地滯在契約ノ御便利相計リ申候

明治生命保險株式會社牛莊代理店 加藤洋行

工 營口元神廟前 飯塚工程局材料部（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

西洋家具製造販賣 營口青堆子 清水寧木局（電話九十四番）

發賣 料木、杆子 一丈 一丈二 亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒 雜貨一切御賣 日本酒春駒一手販賣 捌荷洋行 營口元神廟街（電話一四七番）

爲替相場（四月二十五日）

日本向 九十九圓七十五錢（軍票百圓に付）

上海向 七十一兩二十五錢（同）

天津向 一百〇二圓五十錢（同）

北京向 一百〇三圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價 加藤洋行

紙類

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢

一美濃紙 仝 七圓五十錢

一仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢

一仝 二十枚綴 三錢二厘以上四錢

一狀袋 百枚 十三錢以上十八錢

室内裝飾品及寢具 矢野洋行

一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓

一座ブトン 十枚 六圓五十錢以上三十五圓

一疊 二圓六十錢以上三圓

一薄椽 十枚 八圓

一麻緞通 一疊敷 三圓

一綿緞通 仝 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy. 80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 仝八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 九弗[illegible]